

全身全霊、国民のために

総務副大臣・内閣府副大臣

衆議院議員

佐藤ゆかり

5Gが高齢社会を救う!

枚方市・交野市の皆様へ

本年、いよいよ平成の幕が閉じられ、新天皇陛下のもと新しい時代が幕開けいたします。そして始まる新しい日本。今上天皇のとこしえのご労苦に、国民として心よりの謝意と労いを捧げますとともに、この先の未来をいかに描くか、政治の責任は重大です。日本はいま、AI、IoT、ビッグデータの導入を進めています。これらは医療介護、労働力不足、また東京一極集中などを問題解決し、地方創生の基盤インフラとして期待がかかるからです。

私は総務副大臣として、この基盤インフラを支える第5世代移動通信システム(5G)や新4K8K映像等の先端的放送・通信技術の開発・実用化やサイバーセキュリティー等の政策策定を担っています。本年6月のG20大阪サミットに向けて、日本は議長国の外交力で、米中紛争に象徴される先端通信技術の覇権争いを乗り超え、よりユニバーサルな価値観による「人間中心AI」社会への国際ルール作りを先導してまいります。

日本は、2025年大阪万博でいかに新時代を世界に描くか。新たな技術でヒト・モノ・カネが地方回帰するこの時代。大阪維新の政治のもたつきは許されません。地方議会で与党・自公体制を強化し、枚方市駅前再開発や交野市星田北・星田駅北再開発事業に未来志向を吹き込むことが大事です。自民党は、国民の託す夢と未来を着実にする未来創りの政治を行ってまいります。

総務副大臣・内閣府副大臣
衆議院議員

佐藤ゆかり



「意志あるところに未来が拓ける」

枚方市民が夢と未来を託す 自由民主党!



自民党枚方市支部支部長代行
枚方市議会議員 前田富枝

枚方市の個性豊かな魅力づくりとは?

- 前田： 最重要課題は枚方市駅前周辺再整備です。アンケート調査では7~8割の人が枚方に住み続けたいと回答しており、転入者にも暮らしやすいまちづくりが必要です。市の魅力発信では例えば、市内にあるお寺などを紹介したガイドブック「河内西国三十三所観世音めぐり」を活用し、市独自の観光や賑わいづくりに向けた施策が必要です。
- 高野： 観光で枚方にホテルがないのも問題です。百済王や歴史街道の観光資源があるのだから、京都どまりにさせず枚方まで人を呼び込むことが大事。このため歴史街道の電柱の地中化や枚方市駅前周辺整備は重要な課題でしょう。昨年、枚方市駅前周辺が佐藤議員を通じて国の都市再生緊急整備地域の候補地域となった以上、これは迅速に進めるべきです。
- 佐藤： 大阪・京都を繋ぐ枚方宿や淀川などの重要な観光資源に対して、国交省の河川整備は災害対策予算しか使えず国も見直しが必要です。
- 田口： 総事業費1400億円の枚方市駅前周辺再整備に加えて連続立体交差化などは、国、府からの財源確保が要の少し先の長い話です。一方、北河内医療圏のベッド数の約半分弱を枚方市一市で占めており、医療ツーリズムなどの可能性の追求や重粒子線治療、救急医療の計画を掲げる一方、津田サイエンスを医療産業地域に発展させ、「医療なら枚方」へと導きます。患者通訳やホテル需要も生まれ、医療をバックに介護、保育にも広がります。
- 佐藤： 医療ツーリズムは保険外診療のため、高齢化の国内需要に合わない範囲でなら医療財政にも貢献します。31ヶ国語で瞬時の音声翻訳ができる多言語翻訳アプリも開発されており、医療サービスも機動性が高まって新たな飛躍のステージに入るでしょう。是非、枚方に取り込みたいものです。
- 長友： 水室は高齢化の一方、無添加野菜や穂谷の黒豆に加えて乗馬クラブも開設されることになり、自然環境豊かです。道の駅やひらかた東部の古民家を民泊にして観光資源も創れるでしょう。山間地にドローン学校の特区を設けるとか次世代型の研究所を作る土地も豊富です。
- 加藤： 京都・大阪に30分で行ける恵まれた立地条件を奈良に繋げて、枚方を3方面に繋ぐハブにできればと思います。枚方にある5つの大学には医科、歯科、看護学科等医療関係学科が集積、医療で輝く街として人口増加をめざし、高槻にも渡架橋に加えて電車を通して、枚方を交通結節点化するべきです。
- 出来： 府はいま都構想で頭一杯。知事や市長が条例案を出さない限り議会は進まず、府政を変えることが先決です。他方、保守政治の魅力は地元産業の育成にあり、私はこれに携わる意向です。大企業をいくら誘致しても地元には税収は落ちず、枚方市が

積極的に地元中小企業の育成をすることが大切です。

枚方市の最重要課題として 取り組みたい問題は?

- 前田： 昨年の自然災害で枚方市の脆弱さを認識しました。役所自体が被害にあうなどありえないことです。また、長年水害に見舞われてきた渚地域では、ハザードマップ改定により浸水地域の危険度が高まりました。市民の命を守る、災害に強いまちづくりが最重要課題です。
- 高野： 保育園の耐震には公私間格差があるように思います。行政は耐震補強には補助を出しても老朽化による建替えは全額個人負担となるため、耐震化できる園とできない園と子供達に格差が生まれています。ブルーシートだけ配ればよい等の感覚ではなく子供達をしっかりと守るルール作りが必要です。
- 田口： 災害以外では、人口流出への歯止めが重要です。枚方市は産業振興や道路整備が脆弱で企業が来ないどころか、全国有数の人口流出都市。枚方市は1人あたり110万円(府市合計)の借金を背負うなか、維新の市長は公約を守らず財政再建はほど遠い状況です。
- 長友： しっかりと教育と子育て支援策を作りたいです。枚方市に住めば安心して子育てできるという街にすることがいま重要です。
- 加藤： 少子化による税収減少が大問題です。同級生の親に聞くと、八幡、寝屋川、田辺等と比べて枚方に中学校給食がなく出遅れています。子育て支援を通じて未来につなげる街の再構築が必要です。

2025年大阪万博を 枚方の浮揚チャンスにする政策は?

- 佐藤： 枚方市駅前周辺再開発は国府市組合の4者で費用負担しますが、ホテルの建設促進にあたり重要な考慮はありますか。
- 出来： 枚方は京都にもつながり、ホテルができれば万博でいくらかでも人は来るでしょう。しかし民間資本にとっては、テナントを入れた方が床面積の収益が上がるため、ホテルはなかなかできません。再開発を全て民間に任せると進まないこともあるようです。かつて府営住宅を運営した三セクは市民の意見を良く聞いていました。
- 高野： 市駅北口はほぼ5年後の完成に向かいます。枚方にホテルがないのが最大の問題。これを万博に間に合わせるには、建物の階下部に商業施設を入れるなどして京阪がホテルを建て、民間の力も借りるべきところは借りながらですね。



自民党枚方市支部支部長
前大阪府議会議員 出来しげちか



自民党枚方市支部総務会長
枚方市議会議員 高野ひさのり



自民党枚方市支部副支部長 長友かつよし



自民党枚方市支部副支部長 加藤 治



自民党枚方市支部幹事長
枚方市議会議員 田口よしのり



自民党大阪11区支部長
総務副大臣・内閣府副大臣 佐藤ゆかり

「意志あるところに未来が拓ける」

交野市民が夢と未来を託す 自由民主党!



自民党交野市支部支部長
大阪府議会議員 松本直高

交野市の個性豊かな魅力づくりとは?

松本： 交野市は緑ある住環境が豊かな交通の便の良いまちです。里山整備と自然環境保護のバランスで、人口減少社会にどれだけ人を呼び込めるか。インフラ整備を面的にし住みやすいまちにするため、市長、議長、国府市の連携を強めていきたい。たとえば、かつて頓挫した京阪交野線の近鉄生駒への延伸を自民党議員でもう一度めざしたいです。この先20年のプロジェクトでしょうが、リニア中央新幹線の駅が奈良か生駒に来るなら、リニアとの利便性が生まれる夢のある話です。朝の通勤時は奈良ナンバーの車が交野にも来ており、電車ではいったん鶴橋まで出て近鉄線に乗らないと生駒には行けなかった。佐藤議員を通じて国と連携ができれば素晴らしい。

- 片岡： たしかに、交野はいま人気があります。市の施策以前に、お母さん情報のなかで子育て環境が良いなどの理由から自然に来場者が増加しています。問題は、健康増進のため交野に来てもおカネを落とす所がない。道の駅ほどでなくても、何か欲しいものです。
- 雨田： 交野市の魅力といえば、子育て世代から交野市が選ばれることです。交野市は小中一貫校を進め、教育水準も大阪府下高いレベルにあって、交野が選ばれる理由でもあります。街の周辺には生駒山系があり、もう少し基盤整備を行えば、生駒市のような街に交野市が追いつけるのではないかと思います。高齢化の進む交野市にとり、向こう5~10年が100年に一度の大きな大転換期です。自民党2人会派ではありますが、こういう重要な時期に市議会に奉職する責任は重いと考えています。



左から交野市議会議員雨田賢、総務副大臣佐藤ゆかり、交野市議会議員片岡弘子

松本： ひらかたパークの来場者が年間約110万人なら、交野の星のブランコも何もせずにも年間約100万人が来ます。でも、宿泊施設がなく、グリーンビレッジ交野をホテルに改修したい旨の話がありましたが、奈良の会社に売却となったようです。一方、北河内に道の駅がひとつもなく、いま場所の選定を進めています。まずは国の基準で民間主導で設置し、あとで国の登録を取る方法もあります。道の駅と宿泊施設による面的環境整備に向けて、自民党交野市支部から市長にすでに要望しています。

交野市のインフラ整備の課題や最重要課題として取り組みたいことは?

- 松本： 交野市域には、約150ヘクタールの農地があり、5年後には半減する見込みです。交野市は、都市計画も市府連携が必要なため、円滑な調整役を担いたいと思います。土地開発公社の約100億円近い塩漬けの土地問題では、利息を含めて年約7億円もの支払いが生じており、この財源が他の施策にまわせるなら、交野市でもさまざまな行政サービスが可能になるでしょう。しかし、小中学校統廃合、市役所移転、し尿処理、星田北開発補助で計約200億円、さらに32年度以降には、浄水場、給食センターや新焼却施設等の償還も重なるため、今後かなり財政状況は悪化します。かつて第三セクター等改革推進債の活用で泉佐野市が再生したように、交野市に適用可能なスキームができるならありがたいです。
- 佐藤： これは国が平成25年までの時限措置として土地開発公社の廃止または一部業務廃止に伴う財源措置として行ったものです。当時適合しなかった案件についてどのように考えるか、新たな視点で少し詰めてみたいと思います。
- 片岡： 天の川磐船線についても、都市計画道路が府道久御山線までとなったため、それ以南私市までの延伸計画を市長に要望しているところです。
- 松本： 私の前任者のとき、天の川磐船線の交野久御山線以南が区間廃止になりましたが、この区間の府道整備の事業化は、府の次の中期計画に盛り込む旨すでに府から市に伝えられています。計画に乗れば国の支援を佐藤議員にお願いします。
- 雨田： 市のパブリックコメントで最も反響があるのは公立幼稚園の民営化や学校規模の適正化などの公共施設の再配置についてです。これらの問題は議会でも賛否両論が出ており、注視すべき課題と考えています。



自民党大阪11区支部長
総務副大臣・内閣府副大臣 佐藤ゆかり



自民党交野市支部相談役
交野市議会議員 片岡弘子



自民党交野市支部幹事長代理
交野市議会議員 雨田賢

5Gが高齢社会を救う!

佐藤総務副大臣、郵便事業の激励に日・ミャンマーを奔走



1月1日 大阪北郵便局平成31年賀郵便元旦配達出発式にて総務副大臣として激励ご挨拶と皆で写真撮影

2019年元旦。大阪北郵便局の早朝「年賀郵便元旦配達出発式」に**佐藤ゆかり議員**が出席、担当副大臣として激励ご挨拶をいたしました。その後、式典に来阪した日本郵便米澤副社長はじめ近畿支社荒若支社長、近畿郵便局長会吉城会長等と早朝寒気の中、年賀はがきを乗せてバイクで一斉出発する局員の方々を送迎。また、地元枚方郵便局でも小澤郵便局長はじめ

局員の皆様新年のご挨拶、郵便物の配達先地区仕分け機である区分機の精密な動作も見せて頂きました。大阪北郵便局では、本年元旦時点の受け入れ年賀はがきは約430万枚で全国第2位。信書がメールに代わり郵便利用が減少するなか、高齢者にも身近な地域郵便局のユニバーサルサービスの価値を確保するためには、伸びしろのある小包や新サービス展開に今後の経営資源がいかに活用されるかが期待されます。

また、1月8日～10日総務省の郵便事業及びサイバーセキュリティにおける対ミャンマー協力案件で**佐藤ゆかり議員**は1泊3日のミャンマー出張を実施。カム・アウンミャン郵便総裁のご案内で日本郵便が協力をしているヤンゴン中央郵便局を視察、その後首都ネピドーで総務省主催のサイバーセキュリティワークショップに出席の傍ら、パー・ミン情報大臣、タン・スイン・マウン運輸通信大臣と対ミャンマー協力に係る有意義なバイ会談を行いました。



1月9日 ミャンマーのヤンゴンにて、カム・アウンミャン郵便総裁のご案内のもとヤンゴン中央郵便局を視察



1月9日 ミャンマー首都ネピドーにてパー・ミン情報大臣とバイ会談



1月9日 首都ネピドーにてタン・スイン・マウン運輸通信大臣とバイ会談



1月9日 首都ネピドーの行政府にてタン・スイン・マウン運輸通信大臣、カム・アウンミャン郵便総裁、駐緬丸山大使等と

自民党大阪府参議院選挙区支部長のご紹介

新しい時代！国土強靱化と共に新しいまちづくりを進め、地方政治5期16年の経験で、国と地域をつなぎます。



自民党大阪府参議院選挙区支部長
前大阪市議会議員

やなぎ もと あきら
柳本 顕

Profile

1974年	大阪府西成区生まれ。京都大学法学部卒業後、関西電力入社
1999年	大阪市議会議員補欠選挙で初当選以来、5期連続当選
2013年～	自民党大阪市議会議員団幹事長、大阪万博招致のため活躍
2015年	大阪市長選挙惜敗
現在	自民党大阪府連政調副会長

枚方×交野で自民党結束！



(左から) 枚方支部加藤治、田口よしのり、出来しげちか、佐藤ゆかり、高野ひさのり、前田富枝、長友かつよし



(左から) 交野支部片岡弘子、松本直高、佐藤ゆかり、雨田賢